様式３（2020.08改）

作成日　令和　２年　９月１３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391400260
事業所名	グループホームファミリア神の倉

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会に加わり、回覧板も廻ってきています。開所当初にはミカンのおすそ分けもありましたが、事業所行事におけるポスティングの効果も見られず、近隣とのつきあいは「これから」という段階です。「コロナの状況にもよる」でなかなか思うようにはゆきませんが、漫談や音楽ボランティアの訪問や中学生の職場体験の受入れは継続しています。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	3月（令和2年2回目）は利用者の体調不良などで予定通りの開催とならず、本部とコロナ対策を協議した事を以て代替開催とし、5月に地域包括支援センターへ事後報告しています。5月（令和2年3回目）は職員3名、利用者4名が集まっての内部開催とし、8月（7月は延期:令和2年4回目）は外部者にも集まってもらえました。まだ運営推進会議の活かし方が掴めない点を課題としています。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	これまでは行政意向に応じて生活保護受給者の受入れを可能としていましたが、現在入居の6名で終了することが法人内で決定しており、他のことで貢献できればとしています。各研修には積極的に参加、特に喀痰吸引研修は受講者が口腔ケアに詳しくなって助かっています。地域包括支援センターからも情報が折々もらえており、紹介の「コミュニティセンター」に皆で出かけようと検討中です。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	面会は多い人で週1回、平均で月2回程度はあり、管理者も都度コミュニケーションの機会をもてています。また、「家族は2人まで」「検温」「手指消毒」「入館メモに名前、連絡先を記入する」「面会は10分以内」といったルールを敷き、コロナ禍でも家族と利用者が会えるよう図らっています。認知症が進み、趣味や飲酒などを継続できている利用者は現在いませんが、家事をやりがいにしている人は数名おり、日日支援しています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	—	○	○	×	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										